

学生推薦図書リスト

本校学生さんの“読書習慣”のキッカケになる図書を、学内教職員に募集したところ 22冊が「理由・コメント」付きで回答ありました。是非、図書館の図書検索システムで探して、おススメの本たちと出合ってみてください。



リスト

「東京會館とわたし 上 (旧館)」「東京會館とわたし 下 (新館)」	辻村美月.....	2
「予想通りに不合理」	ダン・アリエリー .....	2
「氷点」	三浦綾子 .....	2
「やさしく、つよく、おもしろく。」	ながしま ひろみ .....	2
「ペンギンの憂鬱」	アンドレイ・クルコフ .....	2
「暗号解読」	サイモン・シン著, 青木薫 訳.....	2
「二重螺旋 完全版」	ジェームズ・D・ワトソン .....	2
「shunkon カフェごはん レンジでもっと！絶品レシピ」	山本ゆり.....	3
「ユニバーサルデザインのちから ~社会人のためのUD入門~ (NEXT シリーズ)」	関根 千佳 .....	3
「パワーズ オブ テン—宇宙・人間・素粒子をめぐる大きさの旅」	フィリス・モリソン、 フィリップ・モリソン .....	3
「孤独なバツタが群れるとき」	前野 ウルド 浩太郎.....	3
第一歌集「ひとさらい」、 第二歌集「てんとろり」、 第三歌集「八月のフルーツ奏者」	笹井宏之.....	4
歌集 「滑走路」	萩原慎一郎 .....	4
「異邦人」	アルベール・カミュ.....	4
「どくとるマンボウ青春記」	北杜夫 .....	4
「野火」	大岡昇平 .....	4
「墮落論」	坂口安吾.....	4
「新版貧困旅行記」	つげ義春 .....	5
「アルジャーノンに花束を」	ダニエル キイス .....	5
「たゆたえども沈まず」	原田マハ .....	5
「鴨川ホルモー」「ホルモー六景」	万城目学.....	5
「悟浄出立」	万城目学 .....	5

「東京會館とわたし 上 (旧館)」「東京會館とわたし 下 (新館)」 辻村美月

ジャンル： 文学 (小説, 詩, エッセイを含む)

コメント： 歴史小説。東京會館を巡るいくつかの時代絵巻。改築され新装オープンした現在の東京會館では、作中のような文学賞授賞式が現在は開催されていません (残念)。作中の登場人物は、皆生き生きと精いっぱい東京會館とかかわっていて読後は力が湧いてくる。皇居近くを訪れたら、東京會館のシャンドリアを読後に眺めてみることをおススメ。

推薦者： 伊藤 明 (電子情報工学科)

「予想通りに不合理」 ダン・アリエリー

ジャンル： その他

コメント： 行動経済学のブームの先駆的存在の著書。経済学に人間の行動の不合理性や心理的な側面を組み合わせ。経済学に心理学を組み合わせる事で全く不合理な結論に至ってしまう。この本はその内容を初心者にも大変わかりやすく説明しています。経済学と心理学の両方のおもしろさが味わえます。

推薦者： 岸根 一恵 (学生課)

「氷点」 三浦綾子

ジャンル： 文学 (小説, 詩, エッセイを含む)

コメント： 時間のある時に読んで、「人間」といういきものについて考えてみてください。1冊ではなく、氷点 (下)、続氷点 (上)、続氷点 (下) と続きますが、必ず続きが読みたくなるはずです。

推薦者： 石谷 春樹 (教養教育科)

「やさしく、つよく、おもしろく。」 ながしま ひろみ

ジャンル： 文学 (小説, 詩, エッセイを含む)

コメント： 短編漫画と糸井重里さんの言葉。なんてことない日々のお話ですが、なんだか心があたたかくなります。

推薦者： 森川 哲 (教育研究支援センター)

「ペンギンの憂鬱」 アンドレイ・クルコフ

ジャンル： 文学 (小説, 詩, エッセイを含む)

コメント： ペンギンの憂鬱にかかわらず、新潮クレスト・ブックスシリーズは、読めば世界観が変わります。

推薦者： 鬼頭 みずき (機械工学科)

「暗号解読」 サイモン・シン著, 青木薫 訳

ジャンル： 文学 (小説, 詩, エッセイを含む) 科学一般 工学

コメント： 暗号に関するこれまでの歴史を含め、非常にわかりやすく記述されていて読みやすい。抽象的な話だけではなく、具体的な暗号の仕組みも紹介されている。また、ドイツ軍の暗号機「エニグマ」についても多くのページを割いて興味深く書かれている。

推薦者： 末次 正寛 (機械工学科)

「二重螺旋 完全版」 ジェームズ・D・ワトソン

ジャンル： 科学一般

コメント： DNAの二重らせん構造はいかに発見されたのか、その成り行きを、発見者の1人であるノーベル賞受賞者ワトソンが執筆しています。受賞後に書かれた『二重螺旋』から40年の時を経て出版され

たこの『完全版』には、当時の手紙や実験のメモなども掲載されています。熾烈な DNA 構造決定競争が展開する場面では、ワトソン・クリックのノーベル賞受賞の事実を知りながらも、ハラハラ、ドキドキすること間違いなし！ワトソンのふとした閃きから断片的だった様々な実験事実がつながり、生命の謎をとくメカニズムへと繋がっていく様は圧巻です。まさにその謎解きを追体験しているような感覚を覚えます。生物や化学に詳しくない人でも十分に楽しめる、まるで推理小説のような本です！

推薦者： 山本 智代（生物応用化学科）

「shunkon カフェごはん レンジでもっと！絶品レシピ」 山本ゆり

ジャンル： 文学（小説，詩，エッセイを含む）その他

コメント： 山本ゆりさんの料理本は、ブログ「含み笑いのカフェごはん『shunkon』」から端を発していて、今どきのブログが面白いから料理本になった人の一人です。早 10 冊を数え全てがベストセラーになっています。私がなぜこの本を推薦するかというと、料理がおいしいのは当たり前、それ以上に彼女の視点が独特でユーモラスだからです。例えば、タイタニックを観ながらこのシーンになったら、具材を入れて、このシーンになったら具材をかき回まわすといったように、料理の進行と映画の進行をリンクさせて調理時間が記載されていたりします。山本ゆりさんの料理本の中にレンチンで作れる料理も多くあり、よくテレビ番組ではずばら料理として紹介されていますが、この人ほど料理を研究している主婦はいないと思うほど、ずばらをするための工夫が随所にしたためられています。料理本を通じて、研究することの大切さを教えてくれる本だと思います。人間には気づきが必要で、そのヒントをくれる本だと言っても過言ではありません。料理に興味があって自分でも作りたいなと思っている学生さん、ユーモラスな視点を鍛えたいと思っている学生さん、クスッと笑いたい学生さん、一度読んでみてください。

推薦者： 黒飛 紀美（材料工学科）

「ユニバーサルデザインのちから ~社会人のための UD 入門~ (NEXT シリーズ)」 関根 千佳

ジャンル： 工学

コメント： 高専教育において今後、社会実装が強く求められていきます。既に超高齢社会に突入した日本においてサービスを提供する対象は高齢者を含む社会的弱者を強く意識する必要があります。UDは身体機能にハンディキャップのある人だけに向けたデザインの思想ではなく、健常者にとっても使いやすい街づくりを目指す考えであることから、エンジニアを目指す学生のうちにその設計思想に触れておくことはプラスになるでしょう。

推薦者： 白井 達也（機械工学科）

「パワーズ オブ テン—宇宙・人間・素粒子をめぐる大きさの旅」 フィリス・モリソン、 フィリップ・モリソン

ジャンル： 科学一般 芸術・スポーツ

コメント： 説明不要。一度見てみてください。

推薦者： 正木 彰伍（機械工学科）

「孤独なバツタが群れるとき」 前野 ウルド 浩太郎

ジャンル： 科学一般

コメント： 筆者が決して平坦でない道を邁進する様子が面白おかしく書かれていて一気に読めた。

推薦者： 正木 彰伍（機械工学科）

第一歌集「ひとさらい」、第二歌集「てんとろり」、第三歌集「八月のフルート奏者」 笹井宏之

ジャンル： 文学

コメント： 現代短歌の一つの到達点として、若い人の感性に訴えかけるものがあるから。

推薦者： 久留原 昌宏（教養教育科）

歌集 「滑走路」 萩原慎一郎

ジャンル： 文学（小説，詩，エッセイを含む）

コメント： 32歳の若さで自ら命を絶ってしまった歌人の第一歌集であり遺歌集。学生時代のいじめが原因で精神的不調に陥り、早稲田大学を卒業しながら療養しつつ契約社員として生活した。その不遇の中でもきらめく青春を謳った作品は胸を打つ。若く短歌に興味のある皆さんにぜひご一読をお願いしたい。「内部にて光り始めて（ここからだ）恋も短歌も人生だって」

推薦者： 久留原 昌宏（教養教育科）

「異邦人」 アルベール・カミュ

ジャンル： 文学（小説，詩，エッセイを含む）

コメント： カフカ「変身」とともに「不条理小説」の代表作だが、ある日突然虫に変身させられるザムザの不条理があくまで受動的であるのに対し、ムルソーの不条理は能動的であり、世界に対する敵意も含め、潔く自分から不条理を受け入れるカッコよさに痺れる。私たちの身に降りかかる多くの不条理はむしろ虫への変身に近いにせよ。行ったこともないアルジェの街の夕闇の空気、海の暑さも感じられて印象的。

推薦者： 山口 雅裕（生物応用化学科）

「どくとるマンボウ青春記」 北杜夫

ジャンル： 文学（小説，詩，エッセイを含む）

コメント： 浮世離れした旧制高校的教養主義は、「即戦力」やら「社会実装」やらが喧伝される現在からみれば半ば噴飯ものの過去の遺物だが、「カントよりも哲学的な」高校生活・寮生活はやっぱり羨ましいし、失われてしまった何かはやはりそこには含まれていたのだと思う。個人的に、山歩きも読書も酒も、いくばくかの影響を受けた懐かしい本。

推薦者： 山口 雅裕（生物応用化学科）

「野火」 大岡昇平

ジャンル： 文学（小説，詩，エッセイを含む）

コメント： 太平洋戦争・フィリピンの戦場で、部隊から肺病病みの「不用者」として見捨てられた兵士の、つまり激戦の最前線で突如「戦争」から放り出された「自由」なる兵士の戦場彷徨。死を常に予感しながら無辜の現地人を射殺し、しかし同胞の人肉は食わなかったと信じる田村に神の救いはあったのか。数年前、塚本晋也監督で映画化されたが、原作に遠く及ばず。

推薦者： 山口 雅裕（生物応用化学科）

「墮落論」 坂口安吾

ジャンル： 文学（小説，詩，エッセイを含む）

コメント： 「武士道」とは、そのような倫理規範なしでは「墮落」しないではいられない武士を抑制するための政治的作品と安吾はみなし、だが人間の本質はその「墮落」にあるという。「生きよ、墮ちよ」という安吾の叫びは私にはちょっと強烈過ぎておいそれとは近づけないのだが・・・

推薦者： 山口 雅裕（生物応用化学科）

### 「新版貧困旅行記」 つげ義春

ジャンル： 文学（小説，詩，エッセイを含む）

コメント： 便りを貰ったことがあるだけで会ったこともない女性と結婚しようと一方的に思い立ち、初めての九州に「蒸発」に旅立つというめちやくちな冒頭の旅行記に引き込まれる。日本中がどこもこぎれいになっていくことを嘆く著者に私は共感するけれど、オンボロ宿での宿泊に心からの安らぎを感じる境地まではなかなか到達できない・・・掲載の写真も味わい深い。

推薦者： 山口 雅裕（生物応用化学科）

### 「アルジャーノンに花束を」 ダニエル キイス

ジャンル： 文学（小説，詩，エッセイを含む）

コメント： 読みだしたら止まらなくなる本の一冊。大学生の頃、研究室のメンバー内でこの本が話題になり、睡眠不足になり”赤い目”をした登校者が続出。SFと分類されているようですが、個人的には現実的におこりそうな気がしています。（最初から、最後まで、よく考えられている文章です。読んだ方は、周りの方にネタバレを決して言わないようにお願いします。私もここには書きません。書けません。）著者ダニエル キイスの他の小説もいくつか読みましたが、個人的にはあまりお勧めできません。発表後、何度も映画やドラマが作成されていることから、面白いことは間違いなし（と思います）。読書が苦手な方は、これをきっかけに”本の虫”になると思います。鈴鹿高専の図書館にもあります。

推薦者： 伊藤 明（電子情報工学科）

### 「たゆたえども沈まず」 原田マハ

ジャンル： 文学 芸術・スポーツ

コメント： 明治初めにパリで活躍した日本人画商 林忠正とゴッホを巡る歴史小説。読後に浮世絵や印象派絵画を見ると、その歴史的背景が目には浮かぶこと間違いなし。

推薦者： 伊藤 明（電子情報工学科）

### 「鴨川ホルモー」「ホルモー六景」 万城目学

ジャンル： 文学（小説，詩，エッセイを含む）

コメント： 妖怪，青春物。軽いタッチで，主に京都を舞台にした大学生が主人公の青春物。「ホルモー六景」には梶井基次郎の各風の青春時代が出てきて，それもまた面白きなり。

推薦者： 伊藤 明（電子情報工学科）

### 「悟浄出立」 万城目学

ジャンル： 文学（小説，詩，エッセイを含む）

コメント： 三蔵法師にお供する沙悟浄（河童の妖怪）の視点から見た物語。子供向けのTV番組しか見たことがなかった人には，三蔵法師一行の苦難の道のりを描く小説もきっと面白いと思えること間違いなし。

推薦者： 伊藤 明（電子情報工学科）